

新時代

No 190
2月16日

民主主義の生と死
市立文部 機関社

政府、拙政のイニシフレ
私更、不況のト民転換
を許さゞ、せうるる日
春御政君活戦に旨流

全市力の学年語

卷之三

日本経済新聞の春田史戦の評論で、
1月起業件数は前年比34%、前月比55%
に上昇し、4月も4月より44%増加、半
期の10数%を記録するに至り、依然世界
一の伸び率を示している。一方、1月の
倒産件数は30%（前年比）、むくにのぼっ
て30%。井川のイーフレットモモタの申し出
せれるマ東国會をのぐる政治決戦が近づ
じこじる。井川のイーフレットモモタと
政府・自民党は企業懸念の問題を
教へこじて、新規設立者入門の問題を
そ真審議を終え、3月4日には衆院同
じと同論んでいる。

今日の消費問題は、既に以上の如
高揚しつつある反面、その牛舌筋筋の
即いとの連携の上に回りしている。同
以降のワラス池澤を集中して取りはる
且この日の学長声明は、今市十曾
費道上は「事実上不可能なもの」として
ある。じロシロロロ、日本は現在の金
當可ヤーフレと教職員に任責のためマッ
カミハーバーするが、日本の学費は相当
度をヨコロロに上回る形で進行され、又國
公官たるの援助道上に強行されることが
必至である。消費問題はさか社会問題
としてクローズド、アーティストという形
にせざれど、消費問題はさか社会問題

首都での8月在保時と王室の國會は、行動を決定したこと。更に、田代、海軍、海軍は、8月10日、首領が第一行動を講じ、田代は、構成され、この行動を阻止する旨を、首領が第一行動を行なう。紙幣流通法により、作つて是紙不足断片の声々、指導部の要求額（五百五〇）と新立升上（五百五〇）との間で、五百五十以上を希望する。これに定めること。然る事など守衛者の戦闘性は高まつて居り、我門は、この守衛者の由に、今一と全国8万隊反対の合意言葉を口にし、合意せねばならぬ。

年のスローガンは、完全な費東結へと
發展せしむれ、すらむ。幹部者の對政府
に其料金とは面東結要求と曰く、全國因公
私學費東結のスローガン、全国180万
名は、この裏」と、此種の費取である
と同様に、市立學費東に相止の明白の意
を呈すものである。

「四九防支官削除、文教費東化た」
（學費東結、四百円過多金完全實施、私
立學費東補助拡大）の要求を今ま東國各
における取扱を修正案に入れてせうつ
て府の了算通りと計じぬる月上旬对政
府行動を断固當いねう。

2
19

THE WORLDS

卷之二

新しく、皆若國会上呈阻止の圖りを、学

かあるだろ。

内日本創始との辯論の中で構築しよう。學斗争に日和見主義的個別學園主義的
等の觀點。教育工部省は、今年は日期限切れとなる方針しか提起しないね学生共闘!!
大學臨時措置法に代わるベキ「新大學管理法」の内容の検討を本格化し、自民黨の一部は、參院選の対決法案、イデオロギー法案として、積極的に提出しようとしている。

二の新大管法は、新しい立法措置によつて大學自体の管理機能を高める方向、大學当局の學生管理強化を法的に義務づけるという方向一通り、現在全國多くの大學で進行している大學の一部教授会と工部官僚による骨頭支配体制を更に強化することを期つてゐる。

二のことを考慮するならば、二の新大管法粉碎のキいは、二つの方面で展開される必要がある。先ず第一は、

二の法案の法律としての制定を阻止し、臨時措置法を廃案にするということであり、第一は、學内における管理強化とりわけ總務管理体制の打破、學内の若干教官、院生、學生の共斗の下に実現することである。

市大においては、二の斗争は、3.16斗争の如く、學内反動勢力を許さぬ斗争と総合して斗わればならない。

3.16問題、2.3差別事件に関する19

日、説明討論集会にクラスから結集しよう。

6.14.12.1確認破棄以後、工教授会は、助手、助講にも總批判を浴び乍らも、一貫して逃亡を決め込んでいた。

しかし、9月以降の自己訂座運動、そして昨年暮れ以来

の3.16問題、2.3差別事件に随する、工自治会、工院協、部活研による追及の前に、工教授会は、1.18.1.25.

2.1説明討論集会をへて、2月15日、工教授会においてオーナーに連の文書撤回、オーナーに6.14確認の遵守を決定したのである。

助手助講も、今後の改革に対して、①人命の尊重、②差別待遇の撤廻③託理の優先を掲げ、教授会に対する異なる立場の姿勢を示している。

19日説明討論集会には、應化3を先頭とする自主講座の成果を踏え、全學科から結集し、教授会に対して、オーナーに、6.14確認にもどらせ、教授の責任を明確にさせること。オーナーに、工向和問題委員会を確立させ、权限を明確化し、年間計画を打出せること。以上を追及の視点として確認し、思想差別を再生産しない工學部研究体制を確立、部活解放教育の一更に強固に構築する必要

があるだろう。

連帯」というつまり又のおかげで、現在の労働者の揚げるスローガンを形式的には一心理解している。しかし、ながら、一步その内容に踏み込むと、「いかにして労働者との連帯をかちくるのか」という具体的な方針提起は一切なしらず、インフレ肉體をはるかに後退し、一般化リエに一般的すぞて何も語つたことになりない。由教審答申実質化阻止を叫ぶことに終止符を打つてゐる。

今日の超インフレ下の情勢が、全般的な人民の生活を破壊し、学生生活をも困窮にふとし込めている中で、我々のスローケンは、学生生活擁護とその保証としての学費連結、4万円奨学金の獲得etcの具体的な、労働者の

生活防衛斗争と連帯しらるスローケンでなければならぬ。いし、その中にこそまた勝利の展望もひろがつてゐる。

學生共斗諸君にとっては、高々毎年繰延される、學部長团交、反対声明要求、市斗争の、それ自身としては

一般的には全く無意味とは言ひれないが、今日の情勢が要求している方針から見れば、さういめて日和見主義的な個別學園だけの自然発生的運動で充分満足なのである。

我等は、二の向の、學生共斗によるデバルト大衆M主主義、セクト主義を批判する。

我等は、二の向の、學生共斗によるデバルト大衆M主主義、セクト主義を批判する。

を招かざるをえなかつたといつ本質的な問題を抜きに、何ら眞面目な総括もなく、それを蓄意的敵対、20~30のゲバルト外人部隊による活動妨害によつて、解決してしまつとしてきた彼らの破産は大衆的に暴露されている。そのようなセクト主義的方心は、彼らの1/3~1/4のセクト的學大私物化、黒ヘルとのケバ合戦、大衆の眞の利益とは全く無関係な前での党派斗争の明暮れの中にもは、さりと表われでいる。我々が過去一貫して抱げてきつとクラスク学友諸君。我々が過去一貫して抱げてきつとクラスクの討論、決議を踏まえMにそが真に我々の利益を守る保障であることを確認し、學に完全連絡をめおし、連絡法制定署名を展開する中、各算口会を包囲するのみに、勞働者と連帯した。斗争へと前進しよう。